

La mode revue du monde élégant, 1832—1846. Paris, 29 vols. on spine: Journal et gravures des modes. 23.3×15.3cm (383. 135-M)

Hiler p. 619—620 Colas 2070—2072 Lipp. 4613

『ラ・モード』は、1829年から1862年まで続刊されたフランスのファッション・ブックである。雑誌が長期にわたる場合、誌名の全部または一部、あるいは発行の形式を変えることは往々見られるが、それが時代をさかのぼり、現物を確認できない場合は、その書誌的事項を正確に把握することが難しいこともある。また、西欧のように書物を独自に製本することも多いところでは、装丁も画一的でなく、施されたタイトルや背文字が所有者の見解で正式の書名とは異なって付けられることもあるので、一見その実体はつかみにくい。

本誌もこの両方を伴った刊行物である。B5の大きさに、赤い表紙にえんじの背皮、金の箔押しでそこには〈Journal et Gravures des Modes〉と記されている。標題紙はなく、いきなり本文が始まっていて誌名は見当らない。頁を繰ると中には美しい手彩色を施したファッション・プレートが挿入されており、プレートの方には〈Le Mode…L'Administration est Rue de Helder 25〉と、見出しの後に発行地の番地が書かれている。以上を手掛かりに文献目録で検索すると、背題の〈Journal et Gravures…〉の誌名は見当らない。Colasの文献目録にはLa modeの誌名は数多く検索され、副題も様々であるが、〈出版地〉から推定できた誌名が標題の通りである。Colasによる本誌の書誌的変遷を記すと、1829年10月にLa mode, revue modes. Galerie des mœurs, album des salons.として創刊された。1831年からは副題がrevue du monde élégant, 同じく1842年7月からはrevue politique et littéraire, 1851年4月からはrevue politique, religieuse et littéraire更に同年9月25日から12月5日まではla revue universelle, journal de l'aristocratieと改名し、同年12月15日から再びrevue du monde élégantにもどり、1855年1月15日まで続く。その後1年休刊し、再び1856年からは新たにLa mode nouvelle, littérature, religion, histoire, beaux-arts, sciences, poésie, critique, théâtres, causeries des salons.『新しいモード, 文学, 宗教, 歴史, 美術, 科学, 詩, 評論, 演劇, 社交界の話題』となり、発行地も変え1862年まで続いた。Hilerの文献目録では、このLa mode nouvelle…が本誌の標題として掲げてある。もともと週刊誌で、3～4ヶ月分の13～18分冊を1回分とし、これに目次を付し、1巻に通常2回分が^{がつてつ}合綴されている。

本館には、1832年から1846年までの29冊が所蔵されており、この間の誌名は『モード, 高雅な社会の雑誌または政治と文芸の雑誌』となり、内容は副題のように文芸や上流社会の話題などが中心となっている。誌上には、著名な画家ランテ (Louise-Marie Lanté) による精緻なモード画が挿入され、本誌の名声を高めている。ランテは他にCostumes des femmes pay de Caux (86) などの優れた作品集も残している。(平井)